

経営学部 リフレクションペーパー

2014年度 <後期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 (曜日・時限) 流通システム論Ⅱ (水曜6限・金曜3限 [2クラス開講]), 流通企業戦略論 (金曜5限)
1. アンケート結果に対する総評 流通システム論Ⅱは、金曜3限クラスが10段階評価で平均8.2、水曜6限クラスが同9.0であった。クラス間での差異がほとんど見られなかった昨年度とは対照的に、今年度は同じ授業内容にもかかわらずクラス間で大きな差異が現れた。今年度は、金曜3限クラス(履修登録数199)と水曜6限クラス(同73)でクラスの規模にかなりの差があり、このことがクラス間の評価の差の一因であろう。しかしながら、金曜3限クラスは受講者が2年生に限定されており、受講者のコース選択に大きな影響力を持ち得ることから、金曜3限クラスの評価の低下は軽視すべきではないと考える。大規模クラスでの講義方法を再検討したい。 流通企業戦略論については、10段階評価で平均8.9であった。昨年度とほぼ同様の高評価であったと理解している。
2. 授業を行う上で工夫した点、良かった点 流通システム論Ⅱでは、抽象度の高い理論の紹介が多いことから、できるだけ具体的事例を紹介しながら噛み砕いて説明するように留意した。「内容はむずかしかったけど説明がわかりやすかったのでよかった」、「例えを使って説明して下さるのですがとても分かりやすいです」、「できるだけわかりやすく説明してくれていると思う」などのコメントがあったことから、一定程度の成果を挙げることができたのではないかと考えている。流通企業戦略論では、昨年度と同様にスライドショーの一部を穴埋め形式にした配布資料を作成し、学生が授業を聞きながら空欄を補えるようにした。また、第1回講義時に配布資料のサイズとスライドの配置に関して受講者に相談し、昨年度はA3サイズであったものをA4サイズに改めた。受講者からは、「講義資料が1枚でまとまってお見やすかった」、「プリントの大きさを小さくしたのはほんとうに良かった」というコメントもあった一方で、「レジユメの記入らんが小さいです」、「プリントは大きいほうがいいです」というコメントも散見され、学生の反応はまちまちであった。
3. 今後の改善点 昨年度と同様に、流通企業戦略論においてスライドの切り替えのタイミングについて「スライドの切り替えが結構早い」、「スライドを変えるのが早く感じ空所を埋める事ができなかった」という意見がいくつかあったので、次年度も引き続き最適な授業進行速度を模索したい。 流通システム論Ⅱでは、金曜クラスにおいて「授業に刺激され授業内容に興味を持つようになりましたか」に対する評価が若干低かった(3.9)ため、今後の授業内容の改善を検討したい。